

研修会報告

2021年11月11日(木)18:00~20:00 オンライン開催
第16回 医療介護関係者の研修会～地域で生きるために～
「新型コロナの情報を共有し、明日からの多職種連携にいかしていこう！」

第1部 講演

「新型コロナウイルス感染症～電話診療・往診からみえた現状について～」

久野 英樹 氏 (久野病院 院長)

- 内容：・第4～5波の電話診療・往診・施設対応について
・電話診療では患者の不安を共有し、傾聴して寄り添うことが大事
・施設職員の感染防御に対する意識付けが大事
・保健師・薬剤師・看護師・医師がチームとなることで病床逼迫している状況においても力強い後方支援となりえる



久野医師

第2部 パネルディスカッション「コロナ支援のこれまでと、これから」、質疑応答

座長：西区医師会 副会長 中本クリニック 院長 中本 博士 氏

パネリスト：西区医師会 副会長 久野病院 院長 久野 英樹 氏

西区薬剤師会 理事 枝吉調剤薬局 管理薬剤師 宮城 要 氏

特定医療法人誠仁会 連携推進室室長 訪問看護ステーション統括 看護師 長田 敏子 氏

神戸市ケアマネジャー連絡会理事 あいの森 管理者 藪本真理子 氏

内容：薬剤師より「薬局における調剤支援(薬の配送と服薬指導)」、看護師より「訪問看護ステーションから見えた課題と提言」、ケアマネジャーより「コロナ感染者『第三波』と『第五波』比較 してみてもケアマネジメントの実践の影響」についてお話を伺いました。



中本医師

今回の研修会は、10職種66名様のご参加をいただきました。

質疑応答では、8問の質問をいただき、活発な意見交換の場となりました。

今後も引き続き、この様な多くの学び、多職種連携の参考となる研修会を開催していきます。



宮城氏

長田氏

藪本氏

【参加者からの感想】(アンケートより一部抜粋)

ケアマネジャー) 現場の大変さがよくわかりました。医療職も家族がいるので緊張した現場だったと思います。しかし、電話診療、先生の直接の声が聴けどんなに心丈夫だったと思います。先生も一人でなかったのが良かったと言われたように、チームでケアすることの大切さも理解できました。

管理栄養士) 講演内容がわかりやすくよかった。また、口腔ケアについての質問と回答について、実情を踏まえた先生方の意見は、施設内ではどうするか職員のマンパワーによる適宜の判断となり、参考になった。パネルディスカッションでの入院中に施設退所され、在宅での看取りを希望された家族に、施設での荷物整理の負荷がかかった件、施設職員として、色々考えさせられた。普段聞く機会のない現場での話を聞いて、職種ごとでの目線の違いを知る事ができた。

看護師) 非常にわかりやすく、今後の課題も見えてきたように思います。それぞれの立場から工夫も聞けたので参考に生かしていきたいと思いました。

あんしんすこやかセンター) 貴重な医師の方の意見やコロナにかかられている方の心の声など悲痛な思いも知ることができました。

～多数のご意見ありがとうございました～